

学校文化の形成の観点からみた 福岡女学院の新聞部の活動についての一考察

—現代の特別活動への示唆—

井 上 美香子

1. 学校新聞『ぶどう』について

昭和27年3月15日、福岡女学院中学校新聞部より学校新聞『ぶどう』が発行された。『ぶどう』（福岡女学院資料室所蔵）は縦382mm × 横272mmのB4規格のタブロイド判で、原則として毎月1号を発行するものとされた¹。『ぶどう』は昭和27年から昭和47年（56号）まで発行されたが、昭和28年3月の第6号を最後に一旦は高校の新聞部と合併した。この間、中高合併で『福岡女学院新聞』を発行したが、「建設的分裂」²を理由に昭和29年8月から再び中学校と高等学校でそれぞれ別々に新聞を発行することとなった。そのため、『ぶどう』は昭和29年8月より改めて1号から再刊する形となっている。

この学校新聞『ぶどう』の発行には、第二次世界大戦後に新教育制度が発足したことにより、全国的に生徒自治の機運が高まったという時代的背景がある。福岡女学院でも昭和26年2月に中学校、高校にそれぞれ生徒会が結成された。生徒会は総会、総務委員会、生徒評議会、財務委員会、専門委員会、

¹ 実際は、1952年度は5回、1954年度は7回など、定期試験などの事情により毎月発行することは難しかったようである。

² 「編集後記」『福岡女学院新聞』17号 昭和29年8月10日 4頁。

ホーム・ルーム、クラブが置かれ、新聞部はそのクラブの1つであった。

生徒会が発足して1年目を終えるに際し自分たちの手で学校新聞を創刊しようとして発行されたのが『ぶどう』である。「ぶどう」という名称は学院聖句の「私はぶどうの樹 あなたがたはその枝である」に由来しており、新聞部一同、満場一致でその名が決まったという³。『ぶどう』では、生徒会の考えや方針を報道し「全生徒の体温をそのままうつし取ったようないきいきとした新聞」⁴づくりが目指された。

なお、『ぶどう』は昭和47年3月14日の第56号まで発行されたが、本稿では薬院から日佐へ校地を移転する以前の第30号までの記事を扱うこととする。

2. 『ぶどう』の資料的価値と現代的意義

創刊号から第30号までの『ぶどう』の記事内容についてみていきたい。創刊号で『ぶどう』の編集方針として、生徒会の考えや方針を報道し「全生徒の体温をそのままうつし取ったようないきいきとした新聞」づくりを掲げているとおり、ほぼ毎号、クラブ活動を含めた生徒会の活動を掲載している。

また、修学旅行や創立記念日のメイクインのことなど、学校行事に関する生徒たちの様子や感想及び意見など生徒たちの生の声も掲載されている。特にメイクインに関しては、歴代のメイクインに当時のことを取材したり戦前のメイクインについて調べたりするなど、記事作成に意欲的に取り組んでいる。生徒たちの日常や生の声などは通常は記録として残ることはほとんどないため、学校行事に対する生徒たちの様子を知るうえで非常に貴重である。

もちろん、牧師の本田正一や宗教委員会の委員と思われる生徒による「聖句小解」が掲載されるなど、キリスト教主義学校としての特徴も垣間見られ

³ 「論説 みんなで作るみんなの新聞」『ぶどう』創刊号 昭和27年3月15日 1頁。

⁴ 同上。

る。その一方で、国内外の時事問題や映画や本の紹介などもなされており、一般紙の社会面や国際面、文化面を意識した新聞づくりも心掛けていたようである。

『ぶどう』で特筆すべき記事として挙げられるのは、「学校紹介」・「学校訪問」、「私たちの誇り」、「私の十代」という特集記事である。

「学校紹介」・「学校訪問」では、主に福岡市内にある中学校を新聞部部員が訪問し、その学校の教員に取材を行ったり、生徒会活動を見学したり、施設見学をしたりするなどして、その様子や感想を記事にするというものである。他校を見学する機会などなかなか無い中、新聞部の生徒たちが他校を見学し読者である生徒たちがその記事を読むことで、彼女たちは自身が通っている福岡女学院中学校と他校を比較することができる。「学校紹介」や「学校訪問」は、自身の所属する学校の特徴や長所・短所について考え、福岡女学院中学校の教育をより深く理解するきっかけとなったのではないだろうか。

続いて、様々な分野で活躍する卒業生を取材した「私達の誇り」（「わたしたちの誇り」という表記も併用されている）では、何故その職に就いたのか、現在の仕事の状況、福岡女学院中学校での生活などについて取材している。また、「私の十代」では、執筆者である福岡女学院中学校の教師たちが、十代をどのように過ごしたかなどについて記している。これらは、十代という多感な生徒たちが、この時期をどのように過ごし、そしてどのように未来を見据えて進んでいけばよいのかを考える上で、一つのロールモデルを提供したのかもしれない。特に、記事の語り手が卒業生や日頃学校で接する教員という身近な存在であればこそ、その効果は大きなものとなるであろう。

なお、紙面をとおした生徒と教師の意見交換（授業や学級活動に関する考え方や意見、クラブの在り方など）もなされており、『ぶどう』が教師と生徒との交流の場としても機能している様子もうかがえる。

以上から、福岡女学院中学校新聞『ぶどう』は、福岡女学院中学校の生徒たちの当時の学校生活での様子を詳しく知ることができるという点で歴史的価値がある資料であるといえる。新聞部部員は作り手として福岡女学院中学

校を多方面の視点から掘り下げ、その他の生徒たちは読み手として記事をとおして福岡女学院中学校について考える。こうした作業をとおして、生徒たちは自らの手で学校文化を創っていったといえるのではないだろうか。現代の中学校における特別活動について検討するうえで、『ぶどう』は有益な示唆を与える素材であるといえるかもしれない。

3. 『ぶどう』（創刊号～30号）記事索引

（凡例）

1. 『福岡女学院中学校新聞 ぶどう』（福岡女学院資料室所蔵）は昭和27年から昭和47年（56号）まで発行されたが、ここでは昭和27年3月15日（創刊号）から昭和34年11月6日（第30号）までに発行された記事索引を掲載した。
2. 記事索引として、発行年月日、号数、掲載頁、記事タイトル、執筆者の属性等を採録した。
3. 執筆者の属性のうち、生徒会やクラブ活動等の部員や委員として執筆している場合は、クラブ名や委員会名などを記載した。それ以外の生徒による記事については「生徒」と記載した。
4. 昭和28年3月の第6号を最後に一旦は高校の新聞部と合併した。その間、中高合併で『福岡女学院新聞』を発行し、昭和29年8月から再び中学校と高等学校でそれぞれ別々に新聞を発行している。そのため、『ぶどう』は昭和29年8月より改めて1号から再刊する形となっている。
5. 記事タイトルの一部に今日の視点では不適切な表現が見られるが、新聞記事が発行された時点と今日の考え方が大きく異なることを考慮し、そのまま掲載した。

学校文化の形成の観点からみた福岡女学院の新聞部の活動についての一考察
—現代の特別活動への示唆— (井上)

『福岡女学院中学校新聞ぶどう』（創刊行～30号）記事索引

発行年月日	号	頁	記事タイトル	執筆者の属性
昭和27年3月15日	1	1	待望の学院新聞『ぶどう』発刊 猫の尻尾を忘れないで 繁榮を期待 自治の現れ	院長 福岡女学院 PTA会長
昭和27年3月15日	1	1	論説 みんなで作るみんなの新聞 生徒会の世論報道機関としてどこまでも公正でありたい。楽しい学生々活の記録としての新聞を作ってゆきたい。“ぶどう”を育て、発展させるために物質面でも協力し合いたい。	新聞部
昭和27年3月15日	1	1	生徒会の新陣容決る 会長井上喜代子さん、副会長井上千鶴さん 生徒会会長井上喜代子さん推薦理由 新役員の言葉 御指導を…… 期待に努力 一生懸命に 責任が重大 全力つくす 選挙管理にあたって	生徒会
昭和27年3月15日	1	2	立派に出来た、たのしい新校舎 只わいもなく嬉しい 新校舎ある日のスケッチ	
昭和27年3月15日	1	2	生徒会の役員として	前生徒会会長
昭和27年3月15日	1	2	不十分でなかつたか 一ケ年間のクラブ活動 座談会 帆船 森川 田中 三浦 深川 岡部 平城 池田	
昭和27年3月15日	1	2	図書紹介	
昭和27年3月15日	1	2	ゴシップ はて、何の音	
昭和27年3月15日	1	2	中学校生徒会26年度決算報告(2月末現在)	
昭和27年3月15日	1	3	どんな本を読むか さて、お小遣いはどの位 実態調査 どんな雑誌を読んでいますか 先生方アンケート 小樋井先生の巻 本田先生の巻 山村先生の巻 宗和先生の巻	
昭和27年3月15日	1	3	活動される楽壇の花 本校出身ピアニスト佐藤博子さん 若い皆様に	卒業生
昭和27年3月15日	1	3	本田先生をかこみ…… 神を求める集い	
昭和27年3月15日	1	3	読書紹介 『嵐ヶ丘』 エミ・プロンテ作 大和資雄訳	
昭和27年3月15日	1	4	發聲の練習が必要 竹原先生と一問一答 春の音楽会	
昭和27年3月15日	1	4	隋想 美しい言葉	生徒
昭和27年3月15日	1	4	新映画紹介 魅力ある演奏『カーネギー・ホール』 本日休診 白石五郎氏談	
昭和27年3月15日	1	4	ゴシップ スケート回し 楽しい我家	
昭和27年3月15日	1	4	声 傷病兵	
昭和27年3月15日	1	4	新聞部員	
昭和27年3月15日	1	4	編集後記	
昭和27年4月15日	2	1	今年こそ活動的に 生徒会について	生徒会会長
昭和27年4月15日	2	1	『協力が必要』 生徒会新顧問の両先生を訪ねて	
昭和27年4月15日	2	1	論説 私達の生徒会 学生の読物	
昭和27年4月15日	2	1	聖句紹介 内なる人を強くする	教員
昭和27年4月15日	2	1	おやめになった先生	
昭和27年4月15日	2	1	お別れの言葉 小樋井滋先生 心を若く	新聞部
昭和27年4月15日	2	1	新しい出発に際して	Y・W・C・A会長
昭和27年4月15日	2	2	一年生の皆様へ	生徒会会長
昭和27年4月15日	2	2	天井を眺めたり 不敵！眠っている人もいた 本年の入試風景 写真説明	
昭和27年4月15日	2	2	出来ますか入学試験問題 理科 数学 国語	
昭和27年4月15日	2	3	成績のよい学校は 狭き門におしよせた合格者統計 どんな勉強のしかたを？ 警固小学校 草ヶ江小学校	
昭和27年4月15日	2	3	社会科の評価について	教員
昭和27年4月15日	2	3	私達の誇り 近くご来福のうわさ 本校出身ソプラノ歌手 三宅春恵さん	新聞部
昭和27年4月15日	2	3	新入生の言葉 無上の嬉しさ	生徒
昭和27年4月15日	2	3	声	
昭和27年4月15日	2	4	うららかな春！	
昭和27年4月15日	2	4	新入学の方々 順不同・敬称略 一年一組 一年二組 一年三組 一年四組	
昭和27年4月15日	2	4	学校めぐり1 双葉学院中学校	新聞部
昭和27年4月15日	2	4	ゴシップ アラレ ねむいなア 電報奇談 みんなエエ方	
昭和27年4月15日	2	4	読書紹介 青い花 ノヴーリス著 小牧健夫訳	
昭和27年4月15日	2	4	編集後記	
昭和27年4月15日	2	4	新聞部員募集 新聞部員	新聞部

昭和27年5月15日	3	1	選ばれた中島玲子さん 今年度晴のメイクイン メイクインの歌について お振袖姿 昔のメイクイン メイクインを囲んで座談会 どうして出来たか 写真説明	
昭和27年5月15日	3	1	創立六十七年 本校の歴史をみる 因幡町時代 天神町時代 創立の目的 平尾時代	
昭和27年5月15日	3	1	論説 創立記念日にあたって	新聞部
昭和27年5月15日	3	1	長崎便り 小樋井先生来福	
昭和27年5月15日	3	1	討論会	
昭和27年5月15日	3	2	京都か南九州か 近づくあこがれの修学旅行 中学三年各クラスの希望地	
昭和27年5月15日	3	2	新任の先生方 辞任の先生	
昭和27年5月15日	3	2	新芽のように 各クラブ部長、抱負を語る 田崎(音楽) 井上(バスケット) 徳地(絵画) 田中(物象) 平賀(英語) 岩子(テニス) 河野(数学) 中村(書道) 堀内(YWCA)	
昭和27年5月15日	3	2	落ちついた良いお姉様に 一年生はこう考える……座談会	
昭和27年5月15日	3	2	国境をこえて	生徒
昭和27年5月15日	3	2	新刊紹介	
昭和27年5月15日	3	3	選ばれてびっくり クイーン座の思出話	
昭和27年5月15日	3	3	私たちの誇り 薬品にうずまいて 本校出身の女医 鳥谷さん	
昭和27年5月15日	3	3	講和発効によせて 狭き門 平池先生 えんの下の力持ち 小樋井滋先生	新聞部
昭和27年5月15日	3	3	三宅春恵さん ひよっこりご来福	
昭和27年5月15日	3	3	母の願い	生徒
昭和27年5月15日	3	3	新刊紹介	
昭和27年5月15日	3	3	独立した日本	生徒
昭和27年5月15日	3	3	創立記念日を前に	新聞部
昭和27年5月15日	3	4	聖句紹介 愛は凡そ事忍び	教員
昭和27年5月15日	3	4	若葉の五月	
昭和27年5月15日	3	4	音楽を愛しているか 聖歌隊のテストを打診する	
昭和27年5月15日	3	4	ゴシップ バンドピン 田島パパ先生 笑話 食糧増産	
昭和27年5月15日	3	4	社会へのスタート	生徒
昭和27年5月15日	3	4	声	新聞部
昭和27年5月15日	3	4	新聞部機構 ○印係長 総務部 総務 書記 会計 編集部 編集 論説 写真 記者 渉外部 印刷 広告	
昭和27年5月15日	3	4	編集後記	
昭和27年10月28日	4	1	思い出の師を偲び 柿菌先生談 信仰の使徒 ベルサー・スターキー女史 信仰の生涯 津田チカ先生	
昭和27年10月28日	4	1	論説 修養会を前に	
昭和27年10月28日	4	1	三宅、原さんと語る	
昭和27年10月28日	4	1	女学院教会の青年会の活動	青年会
昭和27年10月28日	4	1	聖句紹介 『福音にふさわしく』 ビリビ書一章廿七節を中心として	教員
昭和27年10月28日	4	1	声 校歌を作ろう	生徒
昭和27年10月28日	4	1	運動部夏季休暇中の活動	生徒
昭和27年10月28日	4	1	若樹について	教員
昭和27年10月28日	4	2	思い出す旅の印象！ 修学旅行の思い出を語る 修学旅行のお土産話 唄と言葉 方言集 “大浪池征服記” 修学旅行ごぼれ話-制服にまつわる話-	新聞部
昭和27年10月28日	4	2	図書館より	
昭和27年10月28日	4	2	井上さん暗誦 大会に入賞	
昭和27年10月28日	4	3	ベストをつくす！ 中学校合唱コンクール 合唱コンクールに参加して	生徒
昭和27年10月28日	4	3	私たちの誇り 留学の旅を終えて 本校出身 内田孝子先生	新聞部
昭和27年10月28日	4	3	貴女の態度は？	
昭和27年10月28日	4	3	下駄	教員
昭和27年10月28日	4	4	みのりの秋 暑さ寒さも彼岸まで	
昭和27年10月28日	4	4	私たちの作品 昼 月 水とんぼ 泳ぎ 一人 このごろの歌 道秋 短評	生徒、教員
昭和27年10月28日	4	4	榊先生井戸にもぐるの巻 新任の先生	新聞部
昭和27年10月28日	4	4	社会へのスタート	生徒
昭和27年10月28日	4	4	現在の試験制度をどう思うか	新聞部、生徒
昭和27年10月28日	4	4	僕の中学時代	教員

学校文化の形成の観点からみた福岡女学院の新聞部の活動についての一考察
—現代の特別活動への示唆— (井上)

昭和27年10月28日	4	4	編集後記	
昭和28年1月19日	5	1	一年間を終えて	生徒
昭和28年1月19日	5	1	新年度への希望	教員
昭和28年1月19日	5	1	論説 皆様の御協力を	
昭和28年1月19日	5	1	テニス優勝	生徒
昭和28年1月19日	5	1	再軍備とひきかえならば敢えてこのまま残されても 一戦犯キリスト者の獄中書簡	
昭和28年1月19日	5	1	聖句紹介 『汝の美しき衣をつけよ』	教員
昭和28年1月19日	5	1	声 礼拝の態度について	生徒
昭和28年1月19日	5	2	思い出のクリスマス	
昭和28年1月19日	5	2	ローラースケート	生徒
昭和28年1月19日	5	2	聖歌隊の活動	
昭和28年1月19日	5	2	ヘンデルとその作品 音楽への情熱	
昭和28年1月19日	5	2	新刊書紹介	
昭和28年1月19日	5	3	中学生諸君へ望む	生徒
昭和28年1月19日	5	3	ある日の投書箱	
昭和28年1月19日	5	3	私達の誇り 九州大学へ 本校出身 江崎ルリさん	
昭和28年1月19日	5	3	校内騒音防止週間の結束 生徒会活動	
昭和28年1月19日	5	3	租税完納作品展覧会 第二回福岡市私学連合展覧会 本校受賞者 図画 書道 写真部 手芸 工作	
昭和28年1月19日	5	3	クラブ発表会	
昭和28年1月19日	5	4	ストと国民スト!	
昭和28年1月19日	5	4	ローラーについて	生徒
昭和28年1月19日	5	4	社会へのスタート	卒業生
昭和28年1月19日	5	4	私たちの作品 中一の俳句 選後のことば	生徒
昭和28年1月19日	5	4	創作する時の心構え	教員
昭和28年1月19日	5	4	学校めぐり 筑紫女学園	
昭和28年1月19日	5	4	映画紹介 風と共に去りぬ『花嫁の父』 外ロ超特作 撮影余談	
昭和28年1月19日	5	4	編集後記	
昭和28年3月11日	6	1	生徒会新役員決る 会長に井上千鶴さん 副会長に久家和孩子さん 皆様の御協力を 期待に努力 全力をそそいで 良き手助けを 一生懸命に 大切な生徒会に いつも新しい生徒会を	生徒会
昭和28年3月11日	6	1	希望と反省	生徒会会長
昭和28年3月11日	6	1	選挙管理委員にあたって	
昭和28年3月11日	6	1	論説 卒業に寄せて	
昭和28年3月11日	6	1	聖句小解 『己が救いを完うせよ』 ビリビ書二章十一節	教員
昭和28年3月11日	6	2	一年間をかへりみて 生徒会クラブ活動 バasket部 音楽クラブ ダンスクラブ 家庭クラブ 英語クラブ	生徒
昭和28年3月11日	6	2	RKBスタジオ見学記	
昭和28年3月11日	6	2	声『新聞部に関して』	
昭和28年3月11日	6	2	良書御案内 エルサレム ラーゲルレーブ作 石賀修訳	
昭和28年3月11日	6	3	万感胸に! 高等学校卒業式	
昭和28年3月11日	6	3	早春 遠足	
昭和28年3月11日	6	3	学校めぐり 新制中学 警固中学校	
昭和28年3月11日	6	3	事務室の机から	
昭和28年3月11日	6	3	三月のこよみ	
昭和28年3月11日	6	3	図書館だより	
昭和28年3月11日	6	3	高校入試合格者発表	
昭和28年3月11日	6	4	社会へのスタート	卒業生
昭和28年3月11日	6	4	私達の作品 習字の部 図画の部	生徒
昭和28年3月11日	6	4	映画紹介 フォーサイト家の女	
昭和28年3月11日	6	4	ゴシップ きるなあ! いつかぞえる? ???	
昭和28年3月11日	6	4	編集後記	
昭和29年8月22日	1	1	メッセージ	新聞部
昭和29年8月22日	1	1	論説 学生狂騒曲	
昭和29年8月22日	1	1	ミス・ローラーとお別れ	
昭和29年8月22日	1	1	信仰の鍵をもった人々 J二・三年修養会 一年生の部 Y・W・C・A 西南地区修養会	生徒
昭和29年8月22日	1	1	聖句小解 『木と枝』 キリストと係人間との関	教員
昭和29年8月22日	1	2	半年ぶりにお帰りになった佐藤先生を訪問して	
昭和29年8月22日	1	2	学校訪問 高宮中学校訪問記	

昭和29年8月22日	1	2	映画紹介「あの手この手」	
昭和29年8月22日	1	2	ついに御結婚	
昭和29年8月22日	1	2	みんな真ッ黒になって	
昭和29年8月22日	1	2	編集後記	
昭和29年9月22日	2	1	私の第一印象 A NEW TEACHER'S FIRST IMPRESSIONS OF FUKUOKA JO GAKUIN.	宣教師
昭和29年9月22日	2	1	論説 協力する	
昭和29年9月22日	2	1	高校新聞提供 聖句小解「新しい」ということについて	教員
昭和29年9月22日	2	1	時事問題 台風はどうにもならないものだろうか	
昭和29年9月22日	2	1	伊藤先生より葉書二通	
昭和29年9月22日	2	2	来る年と発表会	
昭和29年9月22日	2	2	新聞紹介 新聞はどう作られるか 編集会議 締切日迄 編集印刷所へ 校正 配達	
昭和29年9月22日	2	2	夢をのせて汽車は走る	
昭和29年9月22日	2	2	学校訪問 とんだ台風のひがひ	生徒
昭和29年9月22日	2	2	発表会・修学旅行に関する一考察	生徒、教員
昭和29年9月22日	2	3	童話 訪れた幸	生徒
昭和29年9月22日	2	3	映画紹介「麗しのサブリナ」	
昭和29年9月22日	2	3	映画「黒い潮」をみて	生徒
昭和29年9月22日	2	3	相い出	生徒
昭和29年9月22日	2	3	来客	生徒
昭和29年9月22日	2	4	九・十月の暦	
昭和29年9月22日	2	4	バスケットボール	生徒
昭和29年9月22日	2	4	創作 我輩は猫である	生徒
昭和29年9月22日	2	4	創作 帰路	生徒
昭和29年9月22日	2	4	ゴシップ 草むしり 逃げて行った台風	
昭和29年9月22日	2	4	編輯後記	
昭和29年10月30日	3	1	第九回西部合唱コンクール福岡支部予選 本年も又第一位獲得 竹原先生談 高校コーラス部長中原さん談	
昭和29年10月30日	3	1	論説 心から	
昭和29年10月30日	3	1	福音寸言 ハウロのよるこび テサロニク前書三ノ三〜十	教員
昭和29年10月30日	3	1	本年度修正予算	
昭和29年10月30日	3	1	図書館だより 夏休み中の図書館の動き 学年別貸出冊数 学年別入館者数	
昭和29年10月30日	3	1	声	
昭和29年10月30日	3	2	十一月のこよみ	
昭和29年10月30日	3	2	楽しかった九州一周 修学旅行記 中学部三年	
昭和29年10月30日	3	2	学校訪問 住吉中学校	
昭和29年10月30日	3	2	映画紹介 億万長者 解説 スタッフ キャスト 梗概	
昭和29年10月30日	3	2	編輯後記	
昭和29年12月8日	4	1	再び栄冠獲得 第七回全日本合唱コンクール 職場の部 高等学校の部 大学の部 一般の部	
昭和29年12月8日	4	1	論説 賢と愚と神	
昭和29年12月8日	4	1	聖句小解「神の国はいつ来るのか」「神の国はいつ来るのかと、バライイ人が尋ねたので、イエスは答えて言われた。『神の国は、見られるかたちで来るものではない。また「見よ、ここにある」、「あそこにある」などとも言えない。神の国は、実にあなたがたのただ中にあるのだ。』(ルカ伝一七ノ二〇、二一)	
昭和29年12月8日	4	1	時事問題 憲法改正問題の焦点	生徒
昭和29年12月8日	4	1	社会 失業問題	生徒
昭和29年12月8日	4	2	新聞はどうあるべきか!!	
昭和29年12月8日	4	2	学校訪問 大濠中学校	
昭和29年12月8日	4	2	機械文明	
昭和29年12月8日	4	2	昭和二十九年年度 秋季修養会 中学一年の部 中学三年の部 中学二年の部	
昭和29年12月8日	4	2	意欲 私の愛読書から 風立ちぬ 放浪記 白髪鬼 日夏耿之介 詩集 愛の一家 ジャングリストフ 狂童女の恋	生徒、教員
昭和29年12月8日	4	3	第七回全日本合唱コンクール 再び一位の栄冠輝く	
昭和29年12月8日	4	3	クロスワード・パズル	
昭和29年12月8日	4	3	炭坑視察記	
昭和29年12月8日	4	3	文学による冬心先生描写	
昭和29年12月8日	4	4	十二月のこよみ	

学校文化の形成の観点からみた福岡女学院の新聞部の活動についての一考察
—現代の特別活動への示唆— (井上)

昭和29年12月8日	4	4	英語暗誦大会の記	教員
昭和29年12月8日	4	4	フランス美術展	教員
昭和29年12月8日	4	4	映画観賞 ロミオとジュリエットをみて	生徒
昭和29年12月8日	4	4	詩 冬が来た(高村光太郎)	
昭和29年12月8日	4	4	映画紹介 ホワイトクリスマス パラマウント映画	
昭和29年12月8日	4	4	新刊紹介	
昭和29年12月8日	4	4	こたえ	
昭和29年12月8日	4	4	編後記	
昭和30年2月15日	6	1	一日平均八十三名 中学校高校で 上級生よ、気をつけて下さい 乗物や途中で事故があったので—最も多い遅刻理由— 第1表遅刻者合計(職員の日直日誌より) 第二表遅刻理由	新聞部
昭和30年2月15日	6	1	論説 一年生の入学を前に	
昭和30年2月15日	6	1	聖句小解 『その夜パウロに臨んで言われた。「しっかりとせよあなたは、エルサレムで私のことをあかしたように、ローマでもあかしをしなくてはならない』』	教員
昭和30年2月15日	6	1	時事解説 総選挙の中心点	
昭和30年2月15日	6	1	歌 春日	
昭和30年2月15日	6	1	選挙管理委員にあたって	生徒
昭和30年2月15日	6	1	私達のメモ帖 社会主義インター加盟国 ソ連関係友好相互援助條約加盟国 北大西洋條約(NATO)加盟国	
昭和30年2月15日	6	2	二月のこよみ	
昭和30年2月15日	6	2	新しい種 幼稚園の開園迫る	新聞部
昭和30年2月15日	6	2	学校訪問記 食堂のある中学校 泰皇中学の巻	
昭和30年2月15日	6	2	映画紹介 長い灰色の線 The Long Gray Line	
昭和30年2月15日	6	2	忘れられない一節 最大の楽道家	
昭和30年2月15日	6	2	新刊紹介 文学 辞書 理科系 美術系 その他 寄贈書	
昭和30年2月15日	6	2	編後記	
昭和30年3月12日	7	1	中学校生徒会 会則及び細則の改正 会則本條 改正案	
昭和30年3月12日	7	1	論説 最後のしめくりを	
昭和30年3月12日	7	1	聖句小解 「あなたがたの言葉は、ただ、しかり、しかり、否、否であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである」 マタイ伝5章37節	教員
昭和30年3月12日	7	1	新会長に金沢雅子さん当選	
昭和30年3月12日	7	1	解説 総選挙終る 汚職・乱闘議員も当選 「憲法改正」一応阻止 第二次鳩山単独内閣か 自・民連立内閣出現か 婦人議員減る 公明選挙が泣く 何黨を支持するか!	
昭和30年3月12日	7	1	梅	
昭和30年3月12日	7	2	女学院の「新聞」と「若樹」について 新聞について 若樹について	教員
昭和30年3月12日	7	2	私達のメモ 日本文化の動き 文化勲章とは何か 日本の勲章の種類 皇室用語はどう変ったか	
昭和30年3月12日	7	2	学校訪問 緑色の校舎の学校 城西中学校(市立)	
昭和30年3月12日	7	2	新聞の知識 巻取紙 点字新聞 写真製版の原理	
昭和30年3月12日	7	2	私達の卒業の日の日記 一日一生内村鑑三より	
昭和30年3月12日	7	2	中学類書締切日迫る	
昭和30年3月12日	7	2	読後感 私の愛読の書より 東の風、西の風 デイン家の呪 田舎かたぎの一少女 ジェン・エア 路傍の石 フアウスト ダンテの神曲物語	生徒
昭和30年3月12日	7	3	たのし 今年も太宰府へ	
昭和30年3月12日	7	3	昭和廿九年度決算 収入部 支出の部 委員会 クラブ	
昭和30年3月12日	7	3	「一人一人の力をそげ」	生徒会会長
昭和30年3月12日	7	3	「生徒会をみんなのものに…」一年間の歩みを反省して	生徒会顧問
昭和30年3月12日	7	3	一つの出発点	生徒
昭和30年3月12日	7	3	ゴシップ 或日の×年×組の教室 先生よ我等に自由と休息をあたえよ	
昭和30年3月12日	7	3	無題	生徒
昭和30年3月12日	7	3	森岡先生ご病気	
昭和30年3月12日	7	4	春が来た 春が来た どこに来た 山に来た 里に来た 野にも来た	
昭和30年3月12日	7	4	演出記録 こうして豆は煮えました 監督の感想	
昭和30年3月12日	7	4	鑑賞 日夏の詩をよんで	生徒

昭和30年3月12日	7	4	映画紹介「ブリガドーン」解説 梗概 キャスト	
昭和30年3月12日	7	4	知識 陰暦十二月異名表 昔の方位表	
昭和30年3月12日	7	4	編輯後記	
昭和30年5月20日	7	1	七十周年を祝う 今年を意義のあるものに 八年前のメークイン中島節子さん 五月の女王	新聞部
昭和30年5月20日	7	1	論説 前向きになって 七十周年にあたり	
昭和30年5月20日	7	1	聖句小解 枯れる	教員
昭和30年5月20日	7	1	或る日のこと	新聞部
昭和30年5月20日	7	1	いよいよ開園 幼稚園、二日に	
昭和30年5月20日	7	1	声	生徒
	8		欠号	
	9		欠号	
昭和30年5月20日	10	1	詩	生徒
昭和30年5月20日	10	1	入学式	生徒
昭和30年5月20日	10	1	寸評	
昭和30年5月20日	10	1	昭和30年度中学生徒予算	
昭和30年5月20日	10	2	五月のこよみ	
昭和30年5月20日	10	2	学校訪問 自由・勤勉・友愛 舞鶴中学	新聞部
昭和30年5月20日	10	2	よりよく生きる努力を	体育課
昭和30年5月20日	10	2	時事教室 紫雲丸沈没 松元事件 富士演習場拡張に反対する運動 英国の総選挙 民主党の岸幹事長が、『保守合同のためには、解党も辞さない』と談話	
昭和30年5月20日	10	2	限りなくなつかしい思い出 おさな子の頃	教員
昭和30年5月20日	10	2	映画紹介 失われた少年	新聞部
昭和30年5月20日	10	2	私は幸福を見た	
昭和30年5月20日	10	2	新刊紹介(中学生向)	
昭和30年5月20日	10	2	スポーツ クラブだより 中学校絵画クラブ 中学校家庭クラブ バスケットクラブ	
昭和30年5月20日	10	2	編集後記	
昭和30年7月7日	11	1	転入生座談会開く 静かでのんびりしている	新聞部
昭和30年7月7日	11	1	論説 三十日余りを前に 一学期もあとわずか	
昭和30年7月7日	11	1	生徒会だより 水泳について 指導の仕方 運動会 クラス、マッチ	中学校総務委員会
昭和30年7月7日	11	1	聖句小解 交わり	生徒
昭和30年7月7日	11	1	詩 ながぐつ(宝生厚生)	
昭和30年7月7日	11	1	雨の日のバツテン	
昭和30年7月7日	11	1	修学旅行のコース	
昭和30年7月7日	11	1	百葉箱購入さる 自然を観察しよう	
昭和30年7月7日	11	1	写真入り聖書	
昭和30年7月7日	11	1	メリー先生 御帰米	
昭和30年7月7日	11	1	森田さん	
昭和30年7月7日	11	1	いのこり	
昭和30年7月7日	11	1	水泳の心得 Mさんいわく K君いわく	
昭和30年7月7日	11	1	寸評	
昭和30年7月7日	11	2	七月のこよみ	
昭和30年7月7日	11	2	学校訪問 給食のある学校 早良郡北中学	
昭和30年7月7日	11	2	濃縮ウランを貸したいアメリカ 時事教室	
昭和30年7月7日	11	2	三千円の行方	
昭和30年7月7日	11	2	入館利用者七万突破 図書館ニュース	
昭和30年7月7日	11	2	私の愛読書より 読後感	生徒
昭和30年7月7日	11	2	新刊紹介	
昭和30年7月7日	11	3	印象に残った歴史展 新聞部世論調査 歴史展 家庭科展 理科展 国語展 書道 生花 図画展 全体的 私達の見たもの 一番心に残ったもの	
昭和30年7月7日	11	3	水色の群	
昭和30年7月7日	11	3	HRだより	
昭和30年7月7日	11	3	70周年の反省 生徒の態度 バザーについて 行事について	
昭和30年7月7日	11	3	映画紹介 中絶された旋律 MGMシネマスコープ映画	
昭和30年7月7日	11	3	同窓生の活動	
昭和30年7月7日	11	3	声 特集 図書係の方へ あわれなる我が教室 蛍光灯について 制服 注文 補習 先月号の方へお答え致します	生徒
昭和30年7月7日	11	3	昔話 人魚塚のいわれ	

学校文化の形成の観点からみた福岡女学院の新聞部の活動についての一考察
—現代の特別活動への示唆— (井上)

昭和30年7月7日	11	3	言葉の辞典	
昭和30年7月7日	11	3	ノート メリミー先生御出発 小さな行い	
昭和30年7月7日	11	4	夏休みを目の前に かわいいメダカの買い方	
昭和30年7月7日	11	4	冷静な知性のために	教員
昭和30年7月7日	11	4	詩	
昭和30年7月7日	11	4	私の十代	教員
昭和30年7月7日	11	4	私のノートから	
昭和30年7月7日	11	4	活水より	新聞部
昭和30年7月7日	11	4	自動車のこと	
昭和30年7月7日	11	4	青山より	
昭和30年7月7日	11	4	クラブ活動 演劇クラブ テニスクラブ 理科クラブ 卓球クラブ バスケットクラブ	
昭和30年7月7日	11	4	規定を守って下さい	
昭和30年7月7日	11	4	編集後記	
昭和30年9月29日	12	1	新任教師紹介 いちばん大きい先生 私の願い 先生も生徒も 幸せだと思った	教員
昭和30年9月29日	12	1	私の推薦する本	
昭和30年9月29日	12	1	主張 運動会について	
昭和30年9月29日	12	1	聖句小解 店に行って	教員
昭和30年9月29日	12	1	秋の歌 まびの葉 マロニエ	
昭和30年9月29日	12	1	三年生の皆さんのために 汽車の窓 本田先生より	教員
昭和30年9月29日	12	1	昭和30年度修正予算	
昭和30年9月29日	12	2	十月のこよみ	
昭和30年9月29日	12	2	詩	
昭和30年9月29日	12	2	行事解説 新聞週間	
昭和30年9月29日	12	2	学校訪問 作法室利用致しましょう 箭崎中学校の巻	
昭和30年9月29日	12	2	時事教室 砂川町の悲劇日本の悲劇	
昭和30年9月29日	12	2	図書館だより ラベルの話	
昭和30年9月29日	12	2	新刊紹介(中学生向)	
昭和30年9月29日	12	3	声 批判と助言 『ぶどう』第11号を読んで 新鮮だが食べにくい	新聞部、教員
昭和30年9月29日	12	3	木曜会 同窓会便り	
昭和30年9月29日	12	3	クラブ便り	絵画クラブ
昭和30年9月29日	12	3	クラス便り	生徒
昭和30年9月29日	12	3	委員会だより	
昭和30年9月29日	12	3	玉画家へ羊	生徒
昭和30年9月29日	12	3	映画紹介 ファンタジア	
昭和30年9月29日	12	3	夏休みの思い出	
昭和30年9月29日	12	3	読みさしの本からふと目を上げた	
昭和30年9月29日	12	3	国語テスト発表	
昭和30年9月29日	12	3	言葉の辞典	
昭和30年9月29日	12	4	読書の思い出 読書の秋 手あたり次第に読んだ 即興詩人に 感激して 人工呼吸実演す	教員
昭和30年9月29日	12	4	秋	生徒
昭和30年9月29日	12	4	原爆ゆるすまじ 『日本母親大会に出席して』	
昭和30年9月29日	12	4	がんばれ！！	新聞部
昭和30年9月29日	12	4	おわび	
昭和30年9月29日	12	4	編集後記	新聞部
昭和30年10月29日	13	1	修学旅行をおえて 桜島・ピロー樹・さる・食欲 汽車の中 旅館 にて	生徒
昭和30年10月29日	13	1	論説 私達は子供か大人か	
昭和30年10月29日	13	1	コーラス優勝	生徒
昭和30年10月29日	13	1	七浦七峠にて	
昭和30年10月29日	13	1	寸評	
昭和30年10月29日	13	1	私の十代の思い出の一つ	
昭和30年10月29日	13	1	私学祭メモ バスケット優勝 先生方大いにハリキル！！	新聞部
昭和30年10月29日	13	1	末広さん第二に 暗誦大会にて	
昭和30年10月29日	13	1	HR便り パン購入	
昭和30年10月29日	13	2	十一月のこよみ	
昭和30年10月29日	13	2	学校訪問 常に自主的な態度であることを 百道中学校	生徒
昭和30年10月29日	13	2	日本アルプス上高地回遊記 涼しさにボケて	教員
昭和30年10月29日	13	2	皆さん御存知ですか	
昭和30年10月29日	13	2	私の応急手当	

昭和30年10月29日	13	2	クラス便り クラブ便り	
昭和30年10月29日	13	2	図書だより 読書調査統計表 新刊紹介	
昭和30年10月29日	13	2	編集後記	新聞部
昭和30年11月20日	14	1	新校地に修養寮建つ 修養と交わりの為の家 修養寮建築計画概要	
昭和30年11月20日	14	1	論説 学校新聞とは？	
昭和30年11月20日	14	1	聖句小解 今の時代の人々を	教員
昭和30年11月20日	14	1	全国英語弁論大会へ 思い出	
昭和30年11月20日	14	1	寸評	
昭和30年11月20日	14	1	私学祭メモ	
昭和30年11月20日	14	1	もうすこし静かに	体育課
昭和30年11月20日	14	1	ボイルス先生還米	
昭和30年11月20日	14	1	修養会をおえて	生徒
昭和30年11月20日	14	1	規定を守って下さい	風紀委員
昭和30年11月20日	14	1	あいさつ	
昭和30年11月20日	14	2	十二月のこよみ	
昭和30年11月20日	14	2	学校紹介 新築された校舎 活水ダヨリ	生徒
昭和30年11月20日	14	2	時事教室 前後に例なき大豊作 マ女王『結婚しない』と発表	
昭和30年11月20日	14	2	廊下でひろった紙きれより 理想の男性とは	
昭和30年11月20日	14	2	美行にあてた手紙の中より	
昭和30年11月20日	14	2	言葉の辞典	
昭和30年11月20日	14	2	図書だより 本はどうして手にしますか。	
昭和30年11月20日	14	3	随想 ある朝	生徒
昭和30年11月20日	14	3	売店を利用して	
昭和30年11月20日	14	3	新聞部のみなさんへ ぶどうに対する私の考え	教員
昭和30年11月20日	14	3	映画紹介 今から何十年度？ 海底二万哩 ディズニープロ作品	
昭和30年11月20日	14	3	電車の中	生徒
昭和30年11月20日	14	3	YWCA便り 一年生会員募集	
昭和30年11月20日	14	3	声 日曜日 図書館貸出し期間	生徒
昭和30年11月20日	14	3	私の希望	生徒
昭和30年11月20日	14	3	バスケット	生徒
昭和30年11月20日	14	3	中三ノ二では	生徒
昭和30年11月20日	14	3	経験	生徒
昭和30年11月20日	14	4	私の日記から	生徒、教員
昭和30年11月20日	14	4	私の十代	教員
昭和30年11月20日	14	4	詩 ネコの眼	
昭和30年11月20日	14	4	岩の上で昼寝 宝満山登山記	生徒
昭和30年11月20日	14	4	おくり物帳	生徒
昭和30年11月20日	14	4	編集後記	
昭和30年12月21日	15	1	さあ大変あと3分 遅刻調査 大半は朝寝ぼう いかにしてなおすか 遅刻調査 遅刻について	
昭和30年12月21日	15	1	論説 クリスマス	
昭和30年12月21日	15	1	聖句小解	教員
昭和30年12月21日	15	1	小さなクリスマスの思い出	生徒
昭和30年12月21日	15	1	小さな行い	生徒
昭和30年12月21日	15	2	私の日記より	生徒
昭和30年12月21日	15	2	私の十代 良きクリスチャンの学生に	
昭和30年12月21日	15	2	反省を乞う	
昭和30年12月21日	15	2	求わかわいいい仔犬	生徒
昭和30年12月21日	15	2	時代のちがひ	生徒
昭和30年12月21日	15	2	ユーモアクラブ	
昭和30年12月21日	15	2	声	生徒
昭和30年12月21日	15	2	幸福	生徒
昭和30年12月21日	15	2	来年こそ！	
昭和30年12月21日	15	2	編集後記	
昭和31年4月25日	16	1	ようこそ！ 新入生の皆様へ 入学試験 発表の日 入学式	生徒
昭和31年4月25日	16	1	論説 墜落した上級生 下級生のいい分 その一 その二 その三 その四	
昭和31年4月25日	16	1	聖句小解	生徒
昭和31年4月25日	16	1	生徒会だより	生徒会会長 書記 会計

学校文化の形成の観点からみた福岡女学院の新聞部の活動についての一考察
—現代の特別活動への示唆— (井上)

昭和31年4月25日	16	2	四月 五月	
昭和31年4月25日	16	2	学校訪問 明るい校舎と明るい生徒 私立双葉女学園	
昭和31年4月25日	16	2	時事教室 小選挙区法案とは？	
昭和31年4月25日	16	2	私の愛読書より	
昭和31年4月25日	16	2	横顔	生徒
昭和31年4月25日	16	3	声	生徒
昭和31年4月25日	16	3	二年生	生徒
昭和31年4月25日	16	3	反省 学校生活	
昭和31年4月25日	16	3	ドンコサック合唱団をきいて	生徒
昭和31年4月25日	16	3	十分対談	
昭和31年4月25日	16	3	映画鑑賞 リチャード三世	生徒
昭和31年4月25日	16	3	朝の歌(室生犀星)	
昭和31年4月25日	16	3	ほほえみ	生徒
昭和31年4月25日	16	3	言葉の辞典	
昭和31年4月25日	16	4	クラブ活動 バレークラブ YWCA 登山クラブ 英語クラブ 演劇クラブ バスケットクラブ	
昭和31年4月25日	16	4	さくらに思うこと	生徒
昭和31年4月25日	16	4	先生から生徒へ 生徒から先生へ	生徒、教員
昭和31年4月25日	16	4	詩(宮沢賢治)	
昭和31年4月25日	16	4	私のノートから 戦争・クラス替えについて	生徒
昭和31年4月25日	16	4	どもだち N子のこと	生徒
昭和31年4月25日	16	4	編輯後記	
昭和31年5月25日	17	1	福岡女学院の生徒 真剣さをもって『論説 墜落した上級生』について 墜落した上級生…下級生のいい分 高三(投書) 高三(高三と新聞部が話し合っ) 高三(投書) 高一(インタビュー) 中三(インタビュー) 中三(インタビュー)	
昭和31年5月25日	17	1	先生の見た『福岡女学院』の生徒	教員
昭和31年5月25日	17	2	新聞と私達 中学校新聞調査 新聞の見方	
昭和31年5月25日	17	2	新聞とはどんな役目を果たしているか 1新聞はニュースを持ってくる 2新聞は世論をつくる 3新聞は読書を啓蒙する 4新聞は社会の鏡である。	
昭和31年5月25日	17	2	時事教室 日・ソ漁業条約調印と国交回復問題	教員
昭和31年5月25日	17	2	? 時事解説は何の為に?	
昭和31年5月25日	17	2	聖句	
昭和31年5月25日	17	2	私達の生活と裁判所 私たちの生活と裁判所 法律と裁判	
昭和31年5月25日	17	3	五月 六月	
昭和31年5月25日	17	3	委員会クラブ便り 家庭クラブ 卓球クラブ バスケットクラブ YWCA 英語クラブ バトミントクラブ テニスクラブ 演劇クラブ 風紀委員会 厚生委員	
昭和31年5月25日	17	3	生徒会だより	生徒会
昭和31年5月25日	17	3	十分対談	
昭和31年5月25日	17	3	生徒から先生へ 先生から生徒へ	生徒、教員
昭和31年5月25日	17	3	声	生徒
昭和31年5月25日	17	4	私のノートから	生徒
昭和31年5月25日	17	4	友だち! SとKと私	生徒
昭和31年5月25日	17	4	一年生の作品 入学の喜び 入学式の朝 初めての記念日 楽しいメイクイン	生徒
昭和31年5月25日	17	4	作文二題 ゆかた 私の理想	生徒
昭和31年5月25日	17	4	赤毛のアンの友情	生徒
昭和31年5月25日	17	4	私の愛読書より 次郎物語り	
昭和31年6月23日	18	1	クラブの発展のためにみんな協力して 出席者	
昭和31年6月23日	18	1	論説 学院のスポーツについて	
昭和31年6月23日	18	1	裁判所のはなし 私達の理解と協力	
昭和31年6月23日	18	2	六月 七月	
昭和31年6月23日	18	2	一夜づけ主義者へのプレゼント 一、貴女が本をまる暗記する時イ、全習法とは ロ、分習法とは 二、正確におぼえるためにはイ、数学の公式は ロ、年代は 二、勉強のしかた 三、目標は	
昭和31年6月23日	18	2	十分対談	
昭和31年6月23日	18	2	上級生から下級生へ 下級生より上級生へ	生徒
昭和31年6月23日	18	2	私のノートから	生徒
昭和31年6月23日	18	2	声	

昭和31年8月20日	19	1	夏休みに関する十二章 おきてねるまで 第一章 第二章 第三章 第四章 第五章 第六章 第七章 第八章 第九章 第十章 第十一章 第十二章	
昭和31年8月20日	19	1	論説のかわり 暑い!	
昭和31年8月20日	19	1	一息おつき下さい	
昭和31年8月20日	19	1	皆さんはこんな事を感じた事はありませんか	
昭和31年8月20日	19	1	ひまつぶしポスト	生徒
昭和31年8月20日	19	1	編集途中記	
昭和31年8月20日	19	2	七月 八月 九月	
昭和31年8月20日	19	2	一位は誰? スター人気投票 好きと嫌いは紙一重 投票の結果 群衆心理-中村錦之助- フォーブなくちびるジェームス・ディーン	
昭和31年8月20日	19	2	ハウエル先生のお家で 私のノートから	生徒
昭和31年8月20日	19	2	カナヅチも浮きました 中三の水泳訓練より	生徒
昭和31年8月20日	19	2	有意義な四日間 -YWCAの修養会-	生徒
昭和31年8月20日	19	2	一息おつき下さい	
昭和31年8月20日	19	2	編集後記	
昭和31年12月11日	20	1	天高く馬肥ゆる秋 もうすぎつつある二学期 青空の下で 初めてのころみ	
昭和31年12月11日	20	1	中学生生活を楽しく過すために…… 娛樂 おしゃれ 勉強	
昭和31年12月11日	20	1	正しい態度で終礼	
昭和31年12月11日	20	1	声	
昭和31年12月11日	20	2	こよみ	
昭和31年12月11日	20	2	世界は動いている 時事教室 運河はだまって見ている-スエズ問題- ハンガリアの暴動 暴動の原因は? ハンガリアの現状は 知らずにいてもらいたくない(砂川事件) ブルトーザーの下敷になっても なにをすんだ畜生! 砂川の悲劇をくり返すな 第三次世界大戦はおこるか?	生徒
昭和31年12月11日	20	2	考えてみよう	
昭和31年12月11日	20	2	あなたは何点?(時事アンケート)	
昭和31年12月11日	20	3	九州一周記 修学旅行の思い出 自殺に適切な? 青島 汽車 ポッポ タヌキとサルと人間-高崎山- 阿蘇はもう冬	生徒
昭和31年12月11日	20	3	クラブ便り 演劇クラブ バレークラブ私学祭県大会 十月十二日 県大会 ノバミントクラブ	生徒
昭和31年12月11日	20	3	一息おつき下さい	
昭和31年12月11日	20	3	私のノートから びつこ人間 考える葦	生徒
昭和31年12月11日	20	4	修養会	生徒
昭和31年12月11日	20	4	学校訪問 精華女学院	
昭和31年12月11日	20	4	春・夏・秋・冬 いつがすき	生徒
昭和31年12月11日	20	4	私たちは何を反省すべきか 中学弁論大会より	
昭和31年12月11日	20	4	小説 水仙-続-私の花物語-	生徒
昭和31年12月11日	20	4	一息おつき下さい	
昭和31年12月11日	20	4	ハンガリアを救いましょう	
昭和31年12月11日	20	4	内容紹介 にんじん	生徒
昭和31年12月11日	20	4	編集後記	
昭和32年2月11日	21	1	学生らしく正しい服装を! マフラー・ポニーテール禁止 うらやましい中一・二 自覚を持って 下級生のお手本に	生徒
昭和32年2月11日	21	1	新聞部は告白する	
昭和32年2月11日	21	1	声 生徒の意見をいれて	生徒
昭和32年2月11日	21	1	決まったからには守ってほしい 生活部から	教員
昭和32年2月11日	21	2	こよみ	
昭和32年2月11日	21	2	時事教室 失業対策費減少-完全雇用- 政府が決めた32年度予算案	
昭和32年2月11日	21	2	消えた六十六名 遅刻者をなくそう!	
昭和32年2月11日	21	2	声	
昭和32年2月11日	21	2	学生らしい服装を 風紀委員会顧問の立場から 実情は? おたがいの努力で	風紀委員会顧問
昭和32年2月11日	21	2	一息おつき下さい	
昭和32年2月11日	21	3	学校訪問 高取中学校の巻 印象にのこる明るさ	生徒
昭和32年2月11日	21	3	卒業生へ 下級生から上級生へ 上級生から下級生へ	生徒
昭和32年2月11日	21	3	生徒会より立ちあがれ 自分たちの手で	
昭和32年2月11日	21	3	反省を求め 私を考え しめられるのはもうケッコー	生徒

学校文化の形成の観点からみた福岡女学院の新聞部の活動についての一考察
—現代の特別活動への示唆— (井上)

昭和32年2月11日	21	4	私のノートから この頃思うことふたつ 責任ということ 牧野博士の死 考える私	生徒
昭和32年2月11日	21	4	作文 夢の世界 つっかけ	生徒
昭和32年2月11日	21	4	詩 街灯 冬の夜 夕暮 無題 見栄	生徒
昭和32年2月11日	21	4	読書紹介 若い人『石坂洋次郎』	生徒
昭和32年2月11日	21	4	一息おつき下さい	
昭和32年2月11日	21	4	日記をつけましょう 思い出のために	
昭和32年6月1日	22	1	青空の下に 創立七十二周年記念日の反省 記念式 バザー 運動場行事 展示物 その他 パンピの様な人 メークイン訪問 創立記念日の反省	生徒
昭和32年6月1日	22	1	論説 熱意をもって	
昭和32年6月1日	22	1	早く良くなって下さい 学院のお母さまへ	生徒
昭和32年6月1日	22	2	謎の菅生事件 時事教室 午前零時の爆破事件 二つの名前をもつ男 七つの不思議 いよいよ舞台は福岡へ 真実のわからぬままに…… 誰かが知っている真相	
昭和32年6月1日	22	2	森の都 世界めぐり 中国の巻 中国の歴史	生徒
昭和32年6月1日	22	2	少女苑をたずねて	生徒
昭和32年6月1日	22	3	こよみ	
昭和32年6月1日	22	3	からたちの中の学校(学校訪問) 学芸大学附属中学校	
昭和32年6月1日	22	3	希望にもえて 生徒会だより バスケ ソフト テニス バレー YWCA 英語 書道 時事 園芸	生徒
昭和32年6月1日	22	3	声	生徒
昭和32年6月1日	22	3	もっと親しく 生徒から先生へ お互いの理解 先生から生徒へ	生徒、教員
昭和32年6月1日	22	3	新任先生紹介	
昭和32年6月1日	22	4	小説二題 私達の作品集 生き残った総理大臣殿 母の幼い頃	生徒
昭和32年7月18日	23	1	夏休みを控えて 第一章 計画について 第二章 夏休みの仕事について 第三章 遊びについて 第四章 読書について 生活部から	教員
昭和32年7月18日	23	1	論説 友達と友情 本当の友達とは	
昭和32年7月18日	23	1	宇宙人の訪問か? 目撃者は語る	
昭和32年7月18日	23	1	新入生の見た学校 立派な学院に	生徒
昭和32年7月18日	23	2	こよみ	
昭和32年7月18日	23	2	緑の屋根の学校(学校訪問) 福岡市立当仁中学校	
昭和32年7月18日	23	2	私達が反省すべきこと	
昭和32年7月18日	23	2	私達の作品 ある休みの日の午後 詩 雨 教室の窓から 船	生徒
昭和32年7月18日	23	2	声	生徒
昭和32年7月18日	23	2	生徒から先生へ 先生から生徒へ	生徒、教員
昭和32年7月18日	23	2	編集後記	
昭和32年10月16日	24	1	徳永先生のおもかげ	教員
昭和32年10月16日	24	1	論説 規則と私達 規則を守ろう	
昭和32年10月16日	24	1	私のノートから 『詩想』 一、『あのころ』 二、『夜』 三、『幼いころ』 四、『せりつみ』 五、『小さなできごと』	生徒
昭和32年10月16日	24	1	冬を迎える謙早市 鐵西学院から	
昭和32年10月16日	24	2	こよみ	
昭和32年10月16日	24	2	楽しかった思い出の記 内に秘めた情熱の島 真紅の花とピロウ 樹 貫棟のある猿氏 おかえりなさい	生徒
昭和32年10月16日	24	2	下級生から上級生へ 上級生から下級生へ	生徒
昭和33年3月12日	25	1	中学のみなさんへ しっかりした土台を!	教員
昭和33年3月12日	25	1	論説 私達の手で 学校をよくするために	
昭和33年3月12日	25	1	聖句小解 『見よこの人だ!』	教員
昭和33年3月12日	25	1	私のノートから	生徒
昭和33年3月12日	25	1	新芽	生徒
昭和33年3月12日	25	1	“S”に思う	生徒
昭和33年3月12日	25	1	おわび	
昭和33年3月12日	25	2	こよみ	
昭和33年3月12日	25	2	詩 早春 藤の木	生徒
昭和33年3月12日	25	2	松頼と葛 学校訪問 西南学院中学校	
昭和33年3月12日	25	2	新しい年へ 卒業ということ 三年になること 妹をむかえるということ	生徒
			欠号	
昭和33年12月24日	27	1	楽しかったあの日 文化祭 講堂において 展示物 その他のこと	

昭和33年12月24日	27	1	論説 大切な時代を 有意義に	
昭和33年12月24日	27	1	運動会の感想	生徒
昭和33年12月24日	27	1	おちついた学校 九州女学園	
昭和33年12月24日	27	1	本の紹介 桜の園	
昭和33年12月24日	27	1	桜の園の上演 来日モスクワ芸術座	
昭和33年12月24日	27	1	編集後記	
昭和33年12月24日	27	2	中学生と戦争 あるお母さんとの対話	教員
昭和33年12月24日	27	2	秋から冬へ	生徒
昭和33年12月24日	27	2	フラ・フープは流行おくれ	
昭和33年12月24日	27	2	もののはじめ ヒョットコ	
昭和33年12月24日	27	2	フランス人はアイスクリームがお好き	
昭和33年12月24日	27	2	カイロで大騒ぎ	
昭和33年12月24日	27	2	世界めぐり 永世中立国 スイスの巻 自然 歴史	
昭和34年6月3日	28	1	愛校週間の朝 院長先生の言葉	
昭和34年6月3日	28	1	論説 神とともに生きる生活 学院の教育目標	
昭和34年6月3日	28	1	メイクイン訪問	
昭和34年6月3日	28	1	この地最後の記念日を迎えて 記念式 バザー その他、反省 運動場行事 創立記念行事に思う	生徒
昭和34年6月3日	28	2	読書 一度読むべき戦争の悲劇 沖縄に散ったティーン・エイ ジャーたち “みんなの嵐のはてに” 沖縄の遺書	生徒
昭和34年6月3日	28	2	生徒から先生へ 健康で信頼に満ちたクラスとは 先生から生徒 へ 一歩一歩の前進	生徒、教員
昭和34年6月3日	28	2	世界めぐり アメリカ エリザベス・ハウエル	
昭和34年6月3日	28	3	生徒会だより 事務的能力“ゼロ%の記” 委員会予算 クラブ予 算	生徒会
昭和34年6月3日	28	3	クラブ活動 文芸 書道 園芸 演劇 ダンス 英語 美術 パ レー バスケット 理科 写真 点字 YWCA バトミントン 音楽 テニス ソフト 家庭 卓球	生徒
昭和34年6月3日	28	4	こよみ	
昭和34年6月3日	28	4	学校訪問 環境の豊かな学校 高宮中学校	
昭和34年6月3日	28	4	クラスを訪ねて 明るいクラス	生徒
昭和34年6月3日	28	4	新任先生紹介	
昭和34年6月3日	28	4	編集後記	
昭和34年7月14日	29	1	夏休み近づく 今年も開かれる修養会・水泳会 修養会(中一、 中二・三) 主題「神の前にあるわたし」講師 田中道宣先生(久 留米東町教会牧師) 中一修養会 中二・三修養会 水泳会(中 三) 女学院からカナヅチはなくなるか? 講師 藤本実雄先生 他三名 海は呼ぶ	生徒
昭和34年7月14日	29	1	論説 新校地移転を前にして 真剣に中味の準備をしよう	
昭和34年7月14日	29	1	夏季休暇中特別開館 福岡女学院図書館	
昭和34年7月14日	29	1	ネルソン先生さようなら	
昭和34年7月14日	29	1	勉強はどのようにすればよいか その参考のために(上) 勉強時 間はこれで十分だろうか どういうところまでどのようにしているか	
昭和34年7月14日	29	2	時事解説 チベット問題と平和	生徒
昭和34年7月14日	29	2	生徒から先生へ 心から会釈をしたい 先生から生徒へ 互いの 思いやりこそエチケットの精神	教員
昭和34年7月14日	29	2	世界めぐり フィリピン(1)	生徒
昭和34年7月14日	29	3	工事着々と進む 新名所となるか 福岡市上日佐35番地 そびえ 立つ体育館 出版委員会一行新校地を見学 写真説明	
昭和34年7月14日	29	4	学校訪問 西南学院中学校訪問記	
昭和34年7月14日	29	4	こよみ 七月 八月 九月 十月	
昭和34年7月14日	29	4	クラスを訪ねて 活発なクラス(二ノ三)	生徒
昭和34年7月14日	29	4	ラッキーの死をいたむ 娘への便りの一節	
昭和34年11月6日	30	1	秋期修養会せまる 主題「イエス・キリストに属する」(ロマ・六・一) 標語「私は常に主を私の前に置く」(詩篇十六・八) プログラム	
昭和34年11月6日	30	1	エリザベツ・M・リー先生 三十五年振りに来校	
昭和34年11月6日	30	1	運動会	
昭和34年11月6日	30	1	共同募金	
昭和34年11月6日	30	1	フェルブス先生紹介	
昭和34年11月6日	30	1	論説 秋の豊かな収穫のために 各自ももっと真剣に勉強しよう	
昭和34年11月6日	30	1	学院の母 近刊「徳永ヨシ先生—その生涯と思い出—」	伝記編修委員長
昭和34年11月6日	30	2	修学旅行座談会 出席者(敬称略)	

学校文化の形成の観点からみた福岡女学院の新聞部の活動についての一考察
 —現代の特別活動への示唆— (井上)

昭和34年11月6日	30	2	時事解説 悲惨！十五号台風の爪痕と炭鉱離職者たち 十五号 台風災害救援状況	生徒
昭和34年11月6日	30	3	アンケートによる調査を見る ホーム・ワークはこれでよいか ①家 庭では一日平均どの位勉強していますか。 ②復習、予習はして いますか。 ③わからない事があつたらどうしますか。 今こそ大 切なとき勉強に対する積極性自主性を望む	教員
昭和34年11月6日	30	3	読書週間	読書推進協 議会
昭和34年11月6日	30	3	学院生徒の学力について	生徒
昭和34年11月6日	30	3	勉強はどのようにすればよいか その参考のために(2) 記憶のし かたについて	
昭和34年11月6日	30	4	学校訪問 筑紫女学園中学校の巻	
昭和34年11月6日	30	4	こよみ	
昭和34年11月6日	30	4	クラスを訪ねて よく学び、よく笑うクラス	教員
昭和34年11月6日	30	4	生徒から先生へ 正しく美しいことばについて 先生から生徒へ ことばと生活の調和を心掛けよう	生徒、教員
昭和34年11月6日	30	4	お断り	

